

第74回通常総会議案書

日時：2023年6月22日(木) 14:00

会場：三井ガーデンホテル千葉



千葉県生活協同組合連合会

千葉県生協連第74回通常総会議案書 目次

第1号議案 2022年度活動報告、決算書承認、剰余金処分案に関する件

Ⅰ．2022年度活動のまとめ	01
Ⅱ．2022年度決算報告、剰余金処分案に関する件	10
【1】事業報告書	10
【2】貸借対照表	14
【3】損益計算書	15
【4】重要な会計方針及び注記事項	16
【5】剰余金処分案	21
監査報告書	22

第2号議案 2023年度活動方針及び収支予算案承認に関する件

Ⅰ．2023年度活動方針	23
Ⅱ．2023年度収支予算	29

第3号議案 役員選任の件 30

付属資料	33
地域生協の市町村別加入状況一覧	34
2022年度 会員生協概況表	38

I 2022年度活動のまとめ

1. はじめに（2022年度活動の特徴）

2022年度も引き続きコロナ禍が収まらず、7月には最大級の感染拡大「第7波」が発生しましたが、高止まりのまま年末には「第8波」を迎えました。その後、年明け以降は急速な収束傾向となり、3月にはマスク着用を個人の判断に委ねるまでとなりました。対面での活動も再開されましたが、デジタルの利活用も同時に進みました。会員生協でも、人と人とのつながりを大切にする対面での活動と同時に、オンラインでの学習会や交流といったデジタルを活用した活動が選択肢の一つとして企画されています。

暮らしでは、ロシアによるウクライナ侵攻、それにともなう物価高騰が、日々の生活に大きく影を落としはじめました。より深刻化する貧困格差、子どもの貧困やヤングケアラー^{*1}といった課題も顕在化しています。「暮らしを守る」「暮らしをよくする」といった理念のもと、閉塞感や不安感が続く社会の中で生協が今できることは何かを考える一年になりました。

暮らしが厳しさを増す中、生協に寄せられる期待がより大きくなっています。生協連や会員生協と地域の中の諸団体とが連携して、地域の中で必要とされる喫緊の社会課題にとりくむ活動が大きく増加しました。

千葉県生協連では、持続可能な開発目標（SDGs）の課題解決につながることをめざし、第73回通常総会（2022年6月23日）で承認された方針のもと、活動を進めました。

2. 2022年度の活動について

WebやAIの活用といったIT化の急拡大など、社会環境が大きく変化しています。それに伴う社会的課題も複雑化、多様化しています。そのような中、千葉県生協連は「コープSDGs行動宣言^{*2}」を礎に、「ちばの生協」として持続可能な社会の実現に取り組んでいきます。

方針1：

会員生協とともに暮らしの願いを実現するため、SDGs達成をめざして社会的課題の解決に取り組みます。

(1) 会員生協の活動に共通する課題について、情報収集、学習や事例交流の場を設け、会員どうしが連携して取り組む機会を作ります。

① 地域・まちづくりに関する取り組み

- 今年度の地域・まちづくり委員会では「生協における地域社会とのかかわり方と新たな関係づくり」をテーマに、学習を重ねました。5月には千葉県より「千葉県総合計画」、7月には、東京都生協連から「東京の生協のまちづくり」、10月は会員生協の活動、12月には県内で活動するNPO法人から「校内居場所カフェと高校生への支援」と、各テーマについてオンライン学習をおこないました。3月には、次年度の活動に向けた話し合いをおこないました。



講師：吉永馨さん
(NPO 法人ハイティーンズ
サポートちば 理事長)

- 11月に第2回福祉・たすけあい事業部会では生協の居場所づくりの参考とするため、神奈川県で活動するサード・プレイス^{※3}の視察をおこないました。
- 千葉県の高齢者孤立化防止プロジェクト「SSK」(しない、させない、孤立化!)^{※4}に取り組み、地域生協の高齢者見守り活動事例を県に報告しました。
- 2023年1月に「2022年度大学生協と地域生協の交流会」を開催しました。大学生協の学生委員と地域生協の組合員理事が3年ぶりに対面で交流しました。事務局を含む19人が参加しました。

② 消費者問題に関する取り組み

- 8月に、千葉県主催令和4年度「消費者フォーラム&金融経済講演会」が開催され、会員生協からエシカル消費^{※5}の取り組みについての出展がありました。
- 7月に第2回食・消費者委員会を開催し、千葉県消費者センターを訪問しました。千葉県の消費者被害の状況や成年年齢引き下げ^{※6}から見た若者の消費者被害について、説明いただきました。
- 11月に成年年齢引き下げ問題に関する公開講座 vol.3を実開催でおこないました。今年は若者のマルチ商法^{※7}被害を取り上げ、大人からの若者への支援について学習しました。参加者は、23人でした。



講師左：庄司佳子先生 ((公財) 消費者教育支援センター 主任
研究員) 右：秋山学先生 (神戸女子大学 教授)

- 第47回消費者大会や「食料・農業・環境を考えるセミナー」に参加し、食料価格の高騰から世界の中での日本の食料事情について、会員生協とともに学習しました。

③ 食に関する取り組み

- 4月に第1回食・消費者委員会をオンラインで開催し、千葉県生協連が提出した「令和4年千葉県食品衛生監視指導計画」への意見に対する県の回答について、委員と確認しました。
- 9月に、第3回食・消費者委員会をオンライン開催し、千葉県より「みどりの食料システム戦略^{※8}と千葉県の取り組みについて」と題して説明していただきました。
- 2023年1月に生協連事務局の学習会として、千葉市による令和5年千葉市食品衛生監視指導計画^{※9}説明会を対面で開催しました。
- 2023年2月には、第5回食・消費者委員会をオンライン開催し、千葉県より令和5年千葉県食品衛生監視指導計画について説明を受けました。

④ 防災、減災に関する取り組み

- 5月に第1回災害対策委員会をオンラインで開催しました。「災害時における情報発信・活用について」と題して、千葉県の説明を共有しました。

- 第43回九都県市合同防災訓練^{※10}(千葉会場)に参加協力しました。千葉県生協連からは、8月実施の物資輸送訓練に生活クラブ生協、10月実施の医薬品搬送訓練にはコープみらいが参加しました。



左：物資輸送訓練・生活クラブ生協、
右：医薬品搬送訓練・コープみらい

- 9月の第2回災害対策委員会は、日本赤十字社千葉県支部で開催し、活動交流とともに「赤十字防災セミナー」のカリキュラム紹介や救護倉庫の見学をおこないました。
- 毎月、5会員生協と千葉県生協連の間で、災害時MCA無線通信訓練をおこないました。
- 2023年3月には、会員生協と県連事務局とで、日本防災士会の避難所運営訓練を対面で開催しました。

⑤ 平和に関する取り組み

- 6月に「オルガさんに聞く 祖国のこと、今思っていること、私たちに伝えたいこと」をオンラインで開催しました。ウクライナから避難された方のお話から、平和について考えました。当日の参加者は51人、アーカイブ視聴は134回でした。



講師：パンコーヴァ・オルガさん

- 7月には第44回原爆死没者慰霊式典の実行委員として運営協力し、式典へ出席しました。
- 7月に憲法学習会「檻の中のライオンin千葉県生協連」をオンライン開催し、45人が参加しました。憲法の仕組み、人権尊重、民主主義のルールなど学びました。
- 8月に「子どもたちに平和な未来を2022」をオンライン開催しました。今年度は「平和を願うバトンをつなごう！～あの日の出来事から未来へ～」と題し、被爆者・被爆三世と子どもたちが交流し、平和について考えました。小学生から大人まで、47人が参加しました。
- 10月に4都県生協連共催企画 憲法学習会「守りたい！私たちのくらしと平和 ～今こそ考えよう 世界のこと 日本のこと」をオンライン開催しました。世界情勢を踏まえて日本国憲法を読み解きました。当日オンライン参加とアーカイブ視聴で計184人が参加しました。
- 2023年3月に地域生協部会として、沖縄視察研修会を開催しました。沖縄戦とその後の米軍基地問題をテーマに、沖縄県内の戦跡及び辺野古、普天間などの米軍基地を視察しました。

⑥ 人権に関する取り組み

- 12月に、貧困学習会「貧困に負けない。支え合う社会～反貧困ネットワークの活動から～」と題してオンライン学習会を開催しました。当日の参加者は21人でした。現在の貧困の状況を聴き、地域の中での支え合いについて考えました。



講師：瀬戸大作さん(一般社団法人反貧困ネットワーク 事務局長)

- 千葉県男女共同参画^{*11}推進連携会議に参画し、2023年3月には第1回地域・教育合同部会学習会「男女共同参画の地域へ」の運営に協力しました。

⑦ 環境、エネルギー問題に関する取り組み

- 消費者団体千葉県連絡会では、東日本大震災後の福島復興と東京電力福島第一原子力発電所の汚染水処理について学習しました。7月には、ALPS 処理水^{*12}の学習会、10月には「東京電力福島第一原子力発電所廃炉作業視察会」を実施しました。
- 10月に開催された環境活動見本市「第27回エコメッセ2022 in ちば」に、行政や他団体・企業と共に協力しました。「people：笑顔のバトンをつなげよう」をテーマに、2年ぶりの会場展示とオンライン展示のハイブリッド開催となりました。
- 11月に第4回食・消費者委員会を開催し、資源エネルギー庁から「第6次エネルギー基本計画」の概要について説明を受けました。
- 千葉県環境財団に置かれた「ちば環境再生推進委員会」の委員として、「ちば環境再生基金」からの県内の環境団体への助成活動に取り組みました。

(2) 会員生協への支援

- 10月に政策検討会を開催しました。今回は「ケアラー支援の課題と必要な支援～ケアラーを孤立させない地域に」と題し、ケアラー・ヤングケアラーの状況や抱える課題について学び、その支援のあり方について参加者と考えました。



講師：堀越栄子先生
(日本女子大学名誉教授)

- 第1回職域生協部会を10月に開催し、上期の事業状況と下期の課題について交流しました。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、経営が悪化していた千葉大学生協、千葉商科大学生協、東邦大学消費生協、ちば住宅コープに対し、2022年度会費の特別減免をおこないました。
- 千葉大学生協に加入している卒業を控える学生に対し、共済に関するチラシを配布し、地域生協や職域生協への加入をおすすめしました。

方針2：

安心して暮らし続けられる地域社会づくりのため、自治体や諸団体との連携を大切にしながら協同組合としての役割を發揮します。

(1) 県行政・県議会各会派関係

- 7月に「千葉県環境生活部と千葉県生協連役員との懇談会」を開催し、17人が参加しました。今回は、パルシステム千葉直営農場「パルグリーンファーム」の視察の後、

各会員生協の事業紹介と活動報告をおこない懇談しました。



千葉県環境生活部と千葉県生協連役員との懇談会

- 7月に県行政と共催で「消費生活協同組合役員研修会」をオンラインで開催し、事務局と講師を含み8会員生協55人が参加しました。今年度は「世界の食料問題の現状と日本の食料課題」、「生協運営上の留意点について」の2題について、学習しました。
- 9月および2月に「広報担当者・消費者行政連絡会」を開催し、県行政と会員生協広報担当者が参加しました。会員生協の活動や広報事例を紹介し、成年年齢引き下げ問題啓発広報記事掲載への協力などについて話し合いました。
- 2023年1月に千葉市、2月には千葉県の令和5年食品衛生監視指導計画に対し提言をおこないました。
- 千葉県生協連として、千葉県の各種審議会委員に専任され、県の施策決定に参画しました。

(2) 協同組合関係

- 6月に千葉県漁業協同組合連合会が新設した銚子水産加工センターを、食・消費者委員会の委員を中心とした地域生協関係者が視察しました。銚子港の漁業や新しいメニュー開発などについて、説明を受けました。



千葉県漁業協同組合連合会銚子水産加工センター視察

- 「食料・農業・環境を考えるセミナー」幹事会に参画し、2023年3月にセミナーを開催しました。対面で40人、オンラインで140人が参加しました。「今こそ見つめ直すわたしたちの『食』と『環境』」をテーマに、食料調達や自給などについて学習しました。
- 12月に第27回千葉県協同組合間提携女性交流会が、2年ぶりに対面で開催されました。災害時に役立つタオルで作る防災頭巾の作り方を学びながら、交流しました。

(3) 友誼団体、関係諸団体

- 8月から始まったウクライナ支援「お茶しませんか」プロジェクト^{*13}では、ウクライナ侵攻から避難されているウクライナの方の定期的な交流の場を提供しました。会員生協をはじめ、行政、県内の事業者団体や公的団体などが連携した枠組みでの活動となりました。



ウクライナ支援「お茶しませんか」プロジェクト

- 9月から11月の期間で、会員生協とともに、「フードバンクと千葉県内生協連携キャンペーン」を開催しました。フードドライブとともに夏休み宿題応援子ども記者企画やSNSからのエール発信などの取り組みもおこないました。県内から約8tの食品が集まりました。



寄贈された食品を並べて作った「つながりエール」

- 学習や懇談を通じ、今年度も引き続き日本赤十字千葉県支部と連携協力しました。
- 経済的、環境的に厳しい状況に置かれている子どもを支援する「特定非営利活動法人ちばこどもおうえんだん」の活動に、引き続き協力しました。
- 県内の諸団体が集う「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める千葉の会」実行委員会に参加し、活動に協力しました。
- 千葉県内の被爆者団体「千葉県原爆被爆者友愛会」の活動に対し、継続して協力、支援しました。
- 県内の関係諸団体の取り組む事業や企画な

どの内、その目的や内容に賛同できるものについて、後援しました。

方針3：

持続可能な社会の実現に向け、地域で活動する消費者団体を支援します。

- 消費者団体千葉県連絡会の事務局として、会員団体とともにくらしの様々な課題について学習や交流をおこないました。
- 悪質事業者への是正を求める活動をおこなう適格消費者団体「特定非営利活動法人 消費者市民サポートちば」の事務局を担い、支援しました。



特定非営利活動法人 消費者市民サポートちば

方針4：

地域の中での生協の取り組みに理解を深めていただけるよう、様々な場面、年代、団体に向けた情報発信に努めます。

(1) 県行政・県議会各会派

- 県行政関連部局と委員会や部会などで懇談を重ね、くらしに関わる諸課題について協力関係を深めました。
- 8月には公明党千葉県支部の政策要請懇談会に出席し、県行政における諸課題についての千葉県生協連の要望や考えを説明し、懇談しました。

(2) 協同組合関係

- 千葉大学に開講した日本協同組合連携機構（JCA）が主催する「国際協同組合年記念千葉大学公開寄附講座^{*14}」の開催に協力しました。協同組合の理念や活動を紹介することを目的にしており、会員の地域生協に講師をお願いしました。

(3) 県内諸団体との関係、その他

- 千葉県ユニセフ協会や県内フードバンクなどにも、協力や支援をおこないました。
- 毎月発行する会報や、半期ごとの活動をまとめたフォトピックスにより、県内の行政、関係団体などに千葉県生協連の取り組みを紹介しました。
- 千葉日報社の新春特集「千葉のトップが語る」の中で、千葉県内の生協の事業や活動について紹介し、県民に生協について理解していただくよう努めました。
- 2023年4月のリニューアルに向けて、ホームページの改修をすすめました。

方針5：

2030年ビジョン「つながる力で未来をつくるーCO・OP2030ー」のもと、日本生協連中央地連管内の都県連との交流や情報交換をすすめ、結びつきを強めます。

- 日本生協連 中央地連の会議に参加し、他県の生協、生協連との交流を深めました。
- 東京都、埼玉県、神奈川県各都県連とともに、4都県生協連主催の学習会を開催しました。今後の連携した取り組みについても、検討を進めています。

本議案における、議案の本旨に反しない範囲での字句の修正は、理事会にご一任ください。

2022年度 活動のまとめフォトピックス

2022年6月23日、千葉県生協連第73回通常総会が開催され、2022年度の5つの活動方針が承認されました。主な活動をご紹介します。

方針1
会員生協とともに暮らしの願いを実現するため、SDGs達成を目指して社会課題の解決に取り組みます。



第2回福祉・
たすけあい事業部会
神奈川県
サード・プレイス 視察



第2回
食・消費者委員会

千葉県消費者センター視察



第3回
食・消費者委員会

みどりの食料システム戦略と
千葉県の取り組み

講師：千葉県農林水産部



憲法学習会
檻の中のライオン
in 千葉県生協連

講師：椋（はんどろ）
大樹 弁護士



第43回九都県市
合同防災訓練
(千葉会場)

上：生活クラブ生協
左：コープみらい生協



子どもたちに
平和な未来を2022

左上：講師 中村 紘さん
右上：講師 小谷孝子さん
左横 進行 並川桃夏さん



方針2
 安心して暮らしを続けられる地域
 社会づくりのため、自治体や諸団
 体との連携を大切にしながら協同
 組合としての役割を發揮します。



ウクライナ支援
 「お茶しませんか」
 プロジェクト

第4回茶話会 ビンゴ大会



第27回
 千葉県協同組合間提携
 女性交流会

タオルで作る防災頭巾講習会



方針3
 持続可能な社会の実現に向け、
 地域で活動する消費者団体を支
 援します。

適格消費者団体
 特定非営利活動法人
 消費者市民サポートちば

生協組合員への啓発活動
 (コープみらい きやっせ物産展)



方針4
 地域の中で生協の取り組みに理解
 を深めていただけるよう、様々な
 場面、年代、団体に向けた情報発
 信に努めます。



広報紙
 千葉県生協連
 フォトトピックス

上期・下期 年2回発行



方針5
 2030年ビジョン「つながる力
 で、未来をつくる—CO・OP2030
 —」のもと、日本生協連 中央地
 連管内の都県連との交流や情報交
 換を進め、結びつきを強めます。



4都県生協連共催企画
 憲法学習会
 「守りたい！私たちの
 暮らしと平和
 ～今こそ考えよう 世界のこと
 日本のこと～」

講師：谷口 真由美先生
 (大阪芸術大学客員准教授)



Ⅱ 2022年度決算報告、剰余金処分案に関する件

【1】事業報告書

2023年3月31日

1. 連合会の事業活動の概況に関する事項

(1) 2022年度末における事業活動の経過及びその成果

①事業の経過およびその成果

第1号議案に記載した「2022年度活動報告」のとおりです。

②対処すべき重要な課題

第2号議案に記載した「2023年度活動方針」のとおりです。

(2) 2022年度末における会員の内容

項目	期首	増	減	期末
地域生協	4	0	0	4
職域生協	1	0	0	1
大学生協	3	0	0	3
学校生協	1	0	0	1
住宅生協	1	0	0	1
共済生協	1	0	0	1
高齢者生協	1	0	0	1
合計	12	0	0	12

準会員の内容

項目	期首	増	減	期末
地域生協	2	0	0	2

(3) 直前3事業年度の財産及び損益の概況

(単位：円)

項目	2019年度	2020年度	2021年度	本年度
会員数	12	12	12	12
出資金額	2,160,000	2,160,000	2,160,000	2,160,000
事業収入	48,005,400	47,107,500	47,107,200	47,573,400
事業経費	52,644,614	43,638,891	44,057,533	45,227,400
経常剰余金	-4,596,106	3,562,297	3,140,538	2,549,397
総資産	41,199,245	45,144,519	47,729,692	50,232,413
純資産	39,687,344	43,179,641	46,250,175	48,729,572

(4) 教育事業等の状況

- ①当期に繰り越された教育事業等繰越金 …………… 500,000円
- ②教育事業等要した費用の内訳
- 生協法51条の4第5項(教育事業等繰越金)に要した費用の内訳
- ・教育文化費 会員組合員学習会等 …………… 403,627円
 - ・調査研究費 役員研修会、研修費用、書籍購入等 … 785,649円

2. 連合会の運営組織の状況に関する事項**(1) 総会の決議**

- ①総会開催日 2022年6月23日
- ②代議員数 54名
- ③出席代議員数 54名(本人出席7名、書面出席47名)
- ④重要な議事及び議決事項
- 第1号議案 2021年度活動、決算書承認、剰余金処分案に関する件
- 第2号議案 2022年度活動方針及び収支予算案承認に関する件
- 第3号議案 役員補充選任の件

(2) 会員に関する事項

(単位：円)

区分	会員数	口数	出資金総額
当期首現在	12	216	2,160,000
当期中増加	0	0	0
当期中減少	0	0	0
当期末現在	12	216	2,160,000

(3) 役員に関する事項

役員一覧表 (2023年3月31日現在)

役員名	氏名	就任年月	所属生協名
会長理事	渡邊 英里子	2019年6月	生活協同組合コープみらい 常務執行役員 千葉県本部長
専務理事	上山 精一	2019年6月	常勤
理事	佐々木 博子	2013年6月	生活協同組合パルシステム千葉 理事長
理事	新村 里志	2017年6月	生活協同組合パルシステム千葉 専務理事
理事	佐々木 由佳	2021年6月	生活協同組合コープみらい 理事
理事	埜 智	2020年6月	生活クラブ生活協同組合 専務理事
理事	岩崎 秀人	2011年6月	なのはな生活協同組合 専務理事
理事	鶴岡 隆幸	2019年6月	千葉県庁生活協同組合 専務理事
理事	石原 裕	2021年6月	千葉大学生活協同組合 専務理事
理事	大久保 克巳	2022年6月	千葉県学校生活協同組合 専務理事
理事	杉浦 高志	2020年6月	千葉県勤労者共済生活協同組合 専務理事
理事	高橋 功	2022年6月	生活協同組合ちば住宅コープ 監事
監事	有吉 直樹	2020年6月	東邦大学消費生活協同組合 専務理事
監事	高橋 洋	2020年6月	千葉県高齢者生活協同組合 理事長
監事	木村 隆之	2021年6月	生活協同組合コープみらい 常勤監事

(4) 職員の数

男	女	計
2	2	4

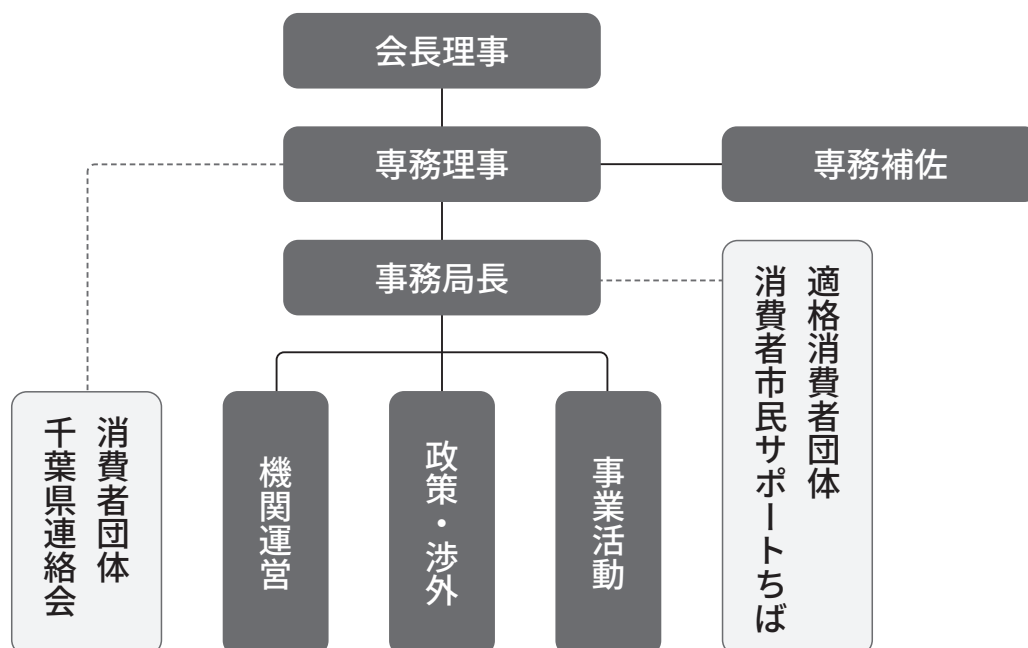
※女性2名は嘱託職員

(5) 主たる事務所の所在地等

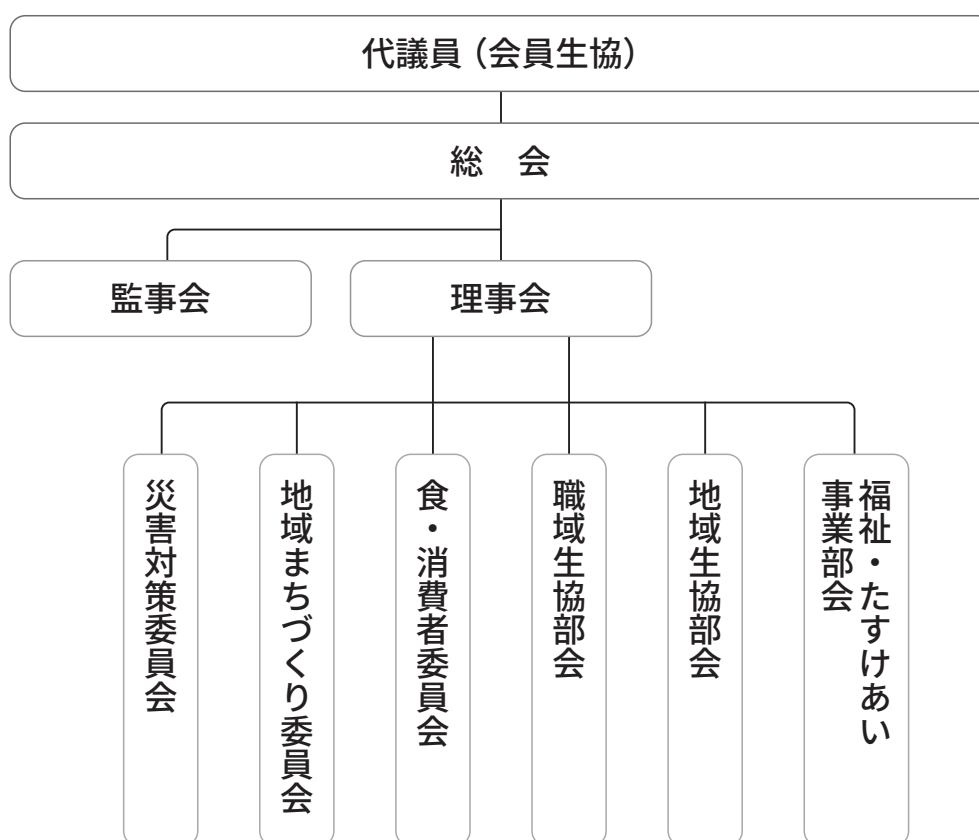
千葉市中央区中央4-13-10 千葉県教育会館5F

(6) 業務運営の組織に関する事項

①業務組織（2023年3月31日現在）



②運営組織（2023年3月31日現在）



3. その他連合会の状況に関する重要な事項

該当事項ありません

【2】貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額		科 目	金 額	
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	48,283,204		流動負債	1,502,841	
現金		156,128	未払費用		1,096,823
普通預金		16,127,061	預り金		336,018
定期預金		32,000,015	未払税金		70,000
			負債合計	1,502,841	
固定資産	1,949,209		(純資産の部)		
有形固定資産	16,709		会員資本	2,160,000	
器具備品		16,709	出資金		2,160,000
その他固定資産	1,932,500		剰余金	46,569,572	
関係団体出資金		200,000	法定準備金		3,630,000
差入保証金		1,732,500	災害対策等積立金		33,000,000
			記念事業積立金		5,000,000
			当期末処分剰余金		4,939,572
			(うち当期剰余金)		(2,479,397)
			純資産合計	48,729,572	
資産合計	50,232,413		負債・純資産合計	50,232,413	

【3】損益計算書

(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位：円)

科目	金額	
I. 事業収入		
会費収入		47,573,400
II. 事業経費		
人件費	30,500,404	
物件費	14,726,996	45,227,400
事業剰余金		2,346,000
III. 事業外収入		
受取利息	9,586	
雑収入	196,726	206,312
IV. 事業外費用		
雑損失		2,915
経常剰余金		2,549,397
当期税引前剰余金		2,549,397
法人税等		70,000
当期剰余金		2,479,397
当期首繰越剰余金		2,460,175
当期未処分剰余金		4,939,572

【4】重要な会計方針及び注記事項

1. 重要な会計方針

(1) 有形固定資産の減価償却方法

- ・法人税法に規定する方法（旧定率法を採用しています）
- ・2012年4月以降取得した備品は定率法を採用しています。

(2) 消費税の会計処理は、税込処理を採用しています。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産にかかる減価償却累計額

- ・器具備品 取得価格 4,031,826円 減価償却累計額 4,015,117円

(2) 賞与引当金・退職給付引当金の引当該当はありません。

3. 損益計算書に関する注記

(1) 法人税等

- ・法人税等には法人県民税と法人市民税を計上しています。
（当期の法人税・法人事業税の計上はありません）

(2) 教育事業等繰越金

- ・当期首繰越剰余金2,460,175円には、剰余金処分により繰越した教育事業等繰越金500,000円が含まれています。

4. 剰余金に関する注記

- ・次期繰越剰余金には、生協法第51条の4第4項に規定する教育事業等繰越金として500,000円が含まれています。

【決算関係書類附属明細書】

2023年3月31日

(1) 会員資本の明細

(単位：円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
会員出資金	2,160,000	0	0	2,160,000
法定準備金	3,630,000	0	0	3,630,000
災害対策等積立金	30,000,000	3,000,000	0	33,000,000
記念事業積立金	5,000,000	0	0	5,000,000
当期末処分剰余金	2,460,175	2,479,397	0	4,939,572
合計	43,250,175	5,479,397	0	48,729,572

(2) 借入金の明細

・該当事項ありません

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿額
有形資産	器具備品	20,885	0	4,176	4,176	16,709
その他資産	差入保証金	1,732,500	0	0		1,732,500
	関係団体出資金	200,000	0	0		200,000
合計		1,953,385	0	4,176	4,176	1,949,209

(4) 関係団体等出資金の明細

(単位：円)

出資先	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
日本生協連	30,000	0	0	30,000
賀川記念教育基金	70,000	0	0	70,000
中央労働金庫	100,000	0	0	100,000
合計	200,000	0	0	200,000

(5) 事業経費の明細

(単位：円)

科目	金額
役員報酬	10,000,000
職員給与	14,813,513
厚生福利費	5,108,718
退職給付費用	578,173
人件費計	30,500,404
通信交通費	866,806
調査研究費	785,649
広報費	1,241,363
会議費	1,474,835
賃借料	5,025,900
渉外費	521,480
教育文化費	403,627
消耗品費	1,467,951
諸会費	1,646,025
水道光熱費	321,766
減価償却費	4,176
雑費	344,160
退職金	426,300
寄附金	131,408
租税公課	10,000
委託料	55,550
物件費計	14,726,996
事業経費合計	45,227,400

(6) その他重要な事項

① 主要な事業に係る資産の内容

ア. 現金預金明細

(単位：円)

区 分	期首残高	期末残高	当期増減額
現 金	44,405	156,128	111,723
普通預金	13,731,887	16,127,061	2,395,174
(中央労金千葉支店)	2,175,912	3,821,036	1,645,124
(千葉銀行長洲支店)	11,440,678	12,191,523	750,845
(京葉銀行本店)	115,297	114,502	-795
定期預金	32,000,015	32,000,015	0
(中央労金千葉支店)	15,000,000	15,000,000	0
(千葉銀行長洲支店)	12,000,015	12,000,015	0
(京葉銀行本店)	5,000,000	5,000,000	0
合 計	45,776,307	48,283,204	2,506,897

イ. 有価証券明細書

- ・ 関係団体出資証券は(4)参照

ウ. 差入保証金明細

(単位：円)

差入先	金 額
千葉県教育会館維持財団	1,732,500

エ. その他資産明細

- ・ 該当事項ありません

②主要な事業に係る負債の内容

ア. 未払費用明細

(単位：円)

内 訳	金額	合計
コープみらい	514,001	
日本生協連	9,000	
キャノン	25,418	
ヤマト運輸(株)	4,994	
ニフティ(株)	11,330	
千葉ビル代行(株)	20,900	
公益財団法人 日本財団	98,000	
千葉労働局(令和4年度分)	310	
未払給与	412,870	1,096,823

イ. 預り金明細

(単位：円)

内 訳	金額	合計
源泉所得税2023年1月～3月分	226,200	
源泉所得税(顧問料源泉預かり分)	5,156	
住民税 2023年3月分	82,900	
退職時源泉所得税誤徴収分	21,762	336,018

ウ. 未払法人税等の明細

(単位：円)

内 訳	金額	合計
未払県民税	20,000	
未払市民税	50,000	70,000

【5】剰余金処分案

2023年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額
I. 当期末処分剰余金	4,939,572
II. 剰余金処分額 災害対策等積立金	2,000,000
III. 次期繰越剰余金	2,939,572

以上のとおり提案いたします。

＜剰余金処分案について＞

I. 剰余金処分額

災害対策等積立金は、大規模災害等により千葉県生協連の事業活動により大きな災害が出た場合の事業継続費用や被災地の復興支援費用として今期は2,000,000円積み立てます。

II. 次期繰越剰余金

生協法第51条の4で定められている教育事業等繰越金は、当期剰余金の5%以上を次期繰越剰余金に含めて繰越します。今期の教育文化事業繰越金は500,000円です。

千葉県生活協同組合連合会
会長理事 渡邊 英里子

監 査 報 告 書

私たち監事は、2022年4月1日から2023年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、当連合会の監事監査規則に基づいて、他の監事と意思疎通及び情報の交換を図るほか、監査方針、監査計画に従い、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、事務所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書及び付属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行ない、当該事業年度に係る決算関係書類（貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案）及びその付属明細書について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告書等の監査結果

- ① 事業報告書及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 決算関係書類及びその付属明細書の監査結果


決算関係書類（剰余金処分案を除く）及びその付属明細書は、連合会の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。


(3) 剰余金処分案の監査結果


剰余金処分案は法令及び定款に適合し、かつ、連合会財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません。

2023年4月26日

千葉県生活協同組合連合会

監事 有吉直樹 

監事 高橋 洋 

監事 木村隆之 

I 2023年度活動方針

1. 2022年度くらしを取り巻く情勢

- (1) 新型コロナウイルス感染症は引き続き感染を広げ、過去最大の感染拡大の第7波と、それを上回るとされる第8波を迎えました。そのような中、国は2023年5月には、ポリオや結核と同等の2類感染症から季節性インフルエンザと同じ5類感染症に移行する方針を決定しました。感染予防を心掛け、社会活動を維持継続する方向で進んでいます。
- (2) コロナ禍による物流の混乱やロシアのウクライナ侵攻により、12月には消費者物価指数^{※15}（生鮮食品を除く）は、前年の同月より4.0%上昇し、41年ぶりの高水準となりました。ガソリン・灯油や電気・ガス代、食料価格など、生活必需品の価格上昇で、くらしが厳しくなっています。一方で、実質賃金は4月からマイナスが続き、物価上昇分を補う賃金の伸びが追いつきません。
- (3) 国民所得に占める税や社会保障の負担割合が2022年度は46.5%となり、上昇を続けています。高齢化に伴う社会保障負担の増加が原因です。家計への負担増による消費控えが懸念されます。
- (4) 貧困・格差も進んでいます。最新調査（2019年度）で全国の相対性貧困率^{※16}は15.4%、特に若者・中年層で上昇しています。17歳未満の子どもの貧困率は約13%、7人

に1人の割合となりました。また、ケアラー、ヤングケアラーの問題にも、注視が必要です。

- (5) コロナ禍の影響もあり、人口減少や少子化、超高齢化がさらに進みました。2021年の出生数は過去最少の81.1万人、推計より6年早く81万人に達しました。また2025年度には後期高齢者が2,180万人、総人口の18%に達すると推測されています。世帯数も減少に転じる中、2020年の国勢調査では子どものいない世帯が6割を占めています。また、中山間地域を中心に人口減少や過疎化が進んでおり、生活サービスの維持、地域コミュニティによる高齢者支援なども難しくなっています。
- (6) 10月には労働者協同組合法^{※17}が施行されました。地域における多様な就労機会や多様なニーズに応える事業の創設が期待されています。また、コミュニティビジネス^{※18}の実践とともに、地域課題を事業的手法や労働で解決することをめざす取り組みが広がっています。
- (7) ロシアのウクライナ侵攻の長期化により、8月に開催された核兵器不拡散条約（NPT）^{※19}でも、最終合意文書の採択に至りませんでした。6月には初めての核兵器禁止条約締約国会議^{※20}が開催され、批准国とオブザーバー国を合わせ80か国が参加しました。核なき世界の実現を呼びかける「ウィー

ン宣言」と「ウィーン行動計画」が採択されました。

(8) 情勢変化の中で、食料安全保障、エネルギー安全保障の強化が言われています。カロリーベースの食料自給率も、2021年度には38%となりました。食料・農業・農村基本法の初めての総合的検証と見直しの検討が進んでいます。またGX実行会議^{※21}において、新たに原発の再稼働の加速、運転期間の延長、新型炉建設を含む方針が示されました。23年3月には原子力規制委員会が60年超の運転を容認したため、安全性など様々な課題について懸念の声が上がっています。

(9) 情報・デジタル技術の急進により、社会の在り方や価値観が大きく変化しています。キャッシュレス決済市場^{※22}の拡大、加速する行政手続きのオンライン化、メタバース^{※23}の開発が進むなど、くらしの様々な分野でDX^{※24}の推進が図られています。

2. 2023年度活動方針

社会情勢に大きく影響される私たちのくらしを守るため、足元にある様々な課題に真摯に向き合います。「コープSDGs行動宣言」を遵守し、「ちばの生協」として持続可能な社会の実現に取り組んでいきます。

方針1：

会員生協とともにくらしの願いを実現するため、SDGs達成をめざして社会的課題に取り組めます。

(1) 会員生協の活動に共通する課題について、情報収集、学習や事例交流の場を設け、会員どうしが連携して取り組む機会を作ります。

① 地域・まちづくりに関する取り組み

- 諸団体から様々な地域づくりの事例を学び、実践につなげられるように会員生協と諸団体との間で交流し、緩やかなネットワークの構築について検討する機会を設けます。
- 「千葉県高齢者を地域で支えるネットワーク会議」の一員として、高齢者が孤立することなく安心して暮らせるよう「SSK」（しない、させない、孤立化!）に引き続き取り組みます。また、生協がおこなう高齢者見守りの取り組みについて、交流する場を設けます。

② 消費者問題に関する取り組み

- 食料、エネルギーなど物価高騰の背景にある様々な課題について考え、消費者がどのように行動すべきかを考えます。
- 技術や仕組みなどが日々刷新されています。自立した消費者としての判断力を養うため、社会的に注視されている消費者課題をタイムリーに取り上げ、学習、交流の場を拡げます。
- 行政と会員生協が連携した消費者被害の啓発活動に取り組みます。千葉県が主催する「消費者フォーラム in 千葉」の取り組みに協力します。

③ 食に関する取り組み

- 行政とのリスクコミュニケーション^{※25}として、令和5年度千葉県及び千葉市食品安全監視指導計画（案）について学ぶ機会を設け、千葉県生協連として提言をおこない

ます。

- エシカル消費、健康など、食をめぐる様々な実態、現在の課題について、SDGsの観点から学習や交流を進めます。
- 食の安全に関する科学的知見、行政の動向など最新情報の提供と、学習と交流の機会を設けます。

④ 防災、減災に関する取り組み

- 災害発生時対応マニュアルや手順書をもとに速やかに対応できるよう、行政や会員生協との共有化を深めます。
- 九都県市合同防災訓練への参加、また千葉県で活動する災害ボランティアセンターとの情報共有とネットワークの構築を進めます。
- 今後起こりうる自然災害、地震災害などに対応するため、次世代に防災・減災の備えの重要性を伝える学習を継続します。

⑤ 平和に関する取り組み

- 国際情勢、憲法改定の動きを踏まえ、憲法平和などの学習に取り組みます。
- 核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議後の動向、核兵器廃絶条約の現在の締結国の状況などに注視し、引き続き、被爆者団体への支援活動を推進します。
- 被爆・戦争体験を次世代に継承し、核兵器廃絶など平和について考える機会として「子どもたちに平和な未来を2023」を開催します。

⑥ 人権に関する取り組み

- 子どもの貧困・虐待、ヤングケアラーといった子どもの問題について学習し、その検討を深める機会を設けます。

- 男女共同参画やLGBTQ^{※26}など、人権問題に関する情報を収集し、情報共有を図ります。

⑦ 環境、エネルギー問題に関する取り組み

- エネルギー政策の転換と今後の動向について、情報収集と学びを進めます。また千葉県でおこなわれている再生可能エネルギー事業などの施策について、情報収集と学習を進めます。
- 容器包装などのリサイクルや食品ロス削減などの実践例を学び、くらしや事業活動に活かします。また、会員生協が地域で取り組む環境活動についての交流や学習をおこないます。
- 「エコメッセ（環境見本市）」に賛同し、行政や他団体・企業と連携しながら支援します。

(2) 会員生協への支援

- webやAIの活用といった新しい取り組みについて、情報提供や学習の機会を設けます。
- 事業活動の中での人権尊重について、様々な角度（ジェンダー^{※27}、国籍など）から考え、学ぶ機会をつくります。
- 会員生協間の交流を図り、お互いの活動に対する理解を含めます。また、若い世代の加入促進のための情報交換や広報活動などを支援します。

方針2：

安心して暮らし続けられる地域社会づくりのため、自治体や諸団体との連携を大切にしながら協同組合としての役割を發揮します。

(1) 県行政・県議会各派・国会議員関係

- ① 県行政との懇談会をおこない、生協の事業活動の取り組みへの理解をひろげます。

- ②県行政と共催で「消費生活協同組合役員研修会」を開催し、暮らしに関連する県の施策、法令関係について学びます。
- ③県行政との協力連携をすすめ、会員生協の活動や広報を活用し、消費者被害の減少・防止のための啓発活動、消費者の暮らしと安全に関わる情報提供の取り組みに積極的に協力していきます。
- ④食や環境など、生協の活動に関わる各分野における県行政との懇談・学習の場を設け、施策への要望などを伝えていきます。
- ⑤委員として参画する県行政の審議会などへの対応をすすめます。

(2) 協同組合関係

- ①千葉県協同組合提携推進協議会^{*28}を通じ、会員生協の職員とともに、協同組合や組合間提携、千葉県の農業・漁業・林業などの現状を学ぶ機会を設けます。
- ②「協同組合女性交流会」、「協同組合フェスティバル」の開催に協力します。
- ③「食料・農業・環境を考えるセミナー」に協力します。

(3) 友誼団体、関係諸団体

- ①さまざまな分野で活動するNPO法人、大学、企業、社会福祉協議会など他団体の取り組みを学び、地域課題について交流や学習を進めます。
- ②行政、日本生協連、会員生協と連携し、災害時には千葉県生協連が窓口となり、人員派遣や物資手配などにスムーズに対応します。また協定を締結している千葉県、日本赤十字社千葉県支部との懇談を継続します。
- ③生活に困窮する人々への支援のため、フードバンクと県内生協で、フードドライブの

取り組みを継続しておこないます。

- ④ロシアの侵攻により日本に避難しているウクライナ人に対する支援を、県内の関係諸団体とともに引き続きおこないます。

方針3：

持続可能な社会の実現に向け、地域で活動する消費者団体に協力し、支援します。

- (1) 県内消費者団体に構成する「消費者団体千葉県県連絡会」の活動に協力し、消費者大会を通じて他団体とともに学習を重ねます。
- (2) 消費者被害防止に取り組む適格消費者団体「特定非営利活動法人消費者市民サポートちば」の事務局機能を支援します。

方針4：

地域の中での生協の取り組みに理解を深めていただけるよう、様々な場面、年代、団体に向けた情報発信に努めます。

(1) 県行政・県議会各派・国会議員関係

会報、広報誌等などを通じて、生協の活動を理解していただけるよう、働きかけます。

(2) 協同組合関係

- ①千葉県協同組合提携推進協議会を通じて、協同組合の理念・活動を社会的にアピールしていきます。
- ②次世代を担う大学生に、協同組合の価値や歴史、社会的課題の取り組みについて知ってもらう機会として、「国際協同組合年記念千葉大学公開寄附講座」へ参加協力します。

(3) 県内諸団体との関係、その他

- ①千葉県労働者福祉協議会、日本赤十字社千葉県支部、千葉県社会福祉協議会、千葉市社会福祉協議会などと交流を進めます。

方針5.

2030年ビジョン「つながる力で 未来をつくる－CO・OP 2030－」のもと、日本生協連中央地連管内の都県連との交流や情報交換をすすめ、結びつきを強めます。

- (1) 生協法をはじめ、関連する法制度の動向に関する情報提供、関係者への働きかけなど、必要な取り組みを日本生協連とともに進めます。
- (2) 4都県（東京、埼玉、神奈川、千葉）生協連の連携をさらに強めます。

用語解説

※1 ヤングケアラー

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどものこと。

※2 コープSDGs 行動宣言

「持続可能な開発目標 (SDGs)」について、生協もその一端を担うべく、取り組みを通じてその実現に貢献することを約束する行動宣言

※3 サード・プレイス

自宅(第1の場所)でも職場(第2の場所)でもない「第3の場所」。心のよりどころとなり、精神的なストレスを減らす、「第2の家」のような存在。

※4 高齢者孤立化防止プロジェクト「ssk」

千葉県が推進する高齢者孤立化防止プロジェクト。SSKは、「しない・させない・孤立化」の頭文字

※5 エシカル消費

地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のこと

※6 成年年齢引き下げ

民法改正により、2022年4月1日から成年年齢が20歳から18歳に変わったこと。

※7 マルチ商法

会員が会員を集めることでピラミッド型の組織を構成するビジネス形態。「連鎖販売取引」。ネットワークビジネス

※8 みどりの食料システム戦略

国内農林水産業の生産力強化や持続可能性の向上を目指し、2021年5月に農林水産省が策定した食料生産の方針。

※9 食品衛生監視指導計画

食品衛生法第24条の規定に基づき毎年度作成するもので、都道府県などがこの計画に従い食品衛生に関する監視指導を実施する。

※10 九都県市合同防災訓練

埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市の九都県市が合同でおこなう防災訓練

※11 男女共同参画

機会の平等や利益の公正な配分などを前提として、男女が性別に関わらず対等な立場にあり、誰もが社会的な活動に自由に取り組むこと

※12 ALPS 処理水

福島第一原子力発電所の建屋内に存在する放射性物質に汚染された水を、多核種除去設備(通称「ALPS」)などを使い、トリチウム以外の放射性物質を規制基準以下まで浄化処理した水

※13 ウクライナ支援「お茶しませんか」プロジェクト

侵攻により避難されてきたウクライナの方々のための茶話会。千葉県内の諸団体が協力し、心を癒す場所を提供

※14 国際協同組合年記念千葉大学公開寄附講座

国際協同組合年(IVC)を記念し結成された全国協議会が開講する寄附講座

※15 消費者物価指数

総務省が、全国の世帯が購入する家計に係る財及びサービスの価格等を総合した物価の変動を時系列的に測定するもの

※16 相対性貧困率

世帯所得が全世帯の中央値の半分未満である人の比率

※17 労働者協同組合法

労働者協同組合は、労働者が組合員として出資し、その意見を反映して、自ら従事することを基本原理とする組織。2022年10月に、設立、運営、管理について定めた法律として施行

※18 コミュニティビジネス

地域課題を、地域資源や人材を活かしてビジネスの手法で解決する事業

※19 核兵器不拡散条約(NPT)

5年に1度、核不拡散条約(NPT)の運用状況を検討するために開かれ、NPTの実効性を高めるための最終文書の全会一致の採択を目的とする会議

※20 核兵器禁止条約締約国会議

核兵器の開発や製造、保有、それに使用を国際法で禁じることを定める核兵器禁止条約を批准した国々により、「核なき世界」実現のための宣言や行動計画を採択する会議。

※21 GX(グリーントランスフォーメーション)実行会議

化石燃料中心の経済・社会、産業構造をクリーンエネルギー中心に移行させ、経済社会システム全体の変革(グリーントランスフォーメーション)を実行するために内閣府に設置された会議

※22 キャッシュレス決済

紙幣や硬貨を使用せず、クレジットカードや電子マネーを利用した電子決済。

※23 メタバース

インターネットを利用した「仮想空間」で交流やサービスを楽しむ場所

※24 DX(デジタルトランスフォーメーション)

デジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること。既存の価値観や枠組みを根底から覆すような革新的なイノベーションをもたらすもの

※25 リスクコミュニケーション

消費者、事業者、行政担当者などの関係者の間で情報や意見をお互いに交換しようというもの

※26 LGBTQ

レズビアン(女性同性愛者)ゲイ(男性同性愛者)バイセクシュアル(両性愛者)トランスジェンダー(心と体の性が一致していない方)に加えて、自分の性がわからないという「クエスチョニング」と性的少数者を表す「クィア」のQを加えた、セクシュアルマイノリティ全般を表す言葉

※27 ジェンダー

社会的性別。「男性はこうあるべき」「女性はこうするべき」という社会の中でつくられたイメージや役割分担

※28 千葉県協同組合提携推進協議会

千葉県内の農林漁協と生協で構成する協議会。県内の協同組合の提携を推進し、組合員の生活安定、協同組合の社会的地位の向上などを図ることを目的とする。

Ⅱ 2023年度収支予算

【1】2023年度収支予算案

自2023年4月1日 至2024年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	22年度実績	前年度比 (%)	経費科目	金 額	22年度実績	前年度比 (%)
I. 事業収入				役員報酬	10,000,000	10,000,000	100.0
会費収入	47,900,000	47,573,400	100.7	職員給与	17,000,000	14,813,513	114.8
II. 事業経費				福利厚生費	5,750,000	5,108,718	112.6
人件費	33,345,000	30,500,404	109.3	退職給付費用	595,000	578,173	102.9
物件費	14,544,000	14,726,996	98.8	人件費計	33,345,000	30,500,404	109.3
合 計	47,889,000	45,227,400	105.9	通信交通費	800,000	866,806	92.3
事業剰余金	11,000	2,346,000	0.5	調査研究費	500,000	785,649	63.6
III. 事業外収入				広報費	1,000,000	1,241,363	80.6
受取利息	9,000	9,586	93.9	会議費	1,800,000	1,474,835	122.0
雑収入	82,000	196,726	41.7	賃借料	5,027,000	5,025,900	100.0
合 計	91,000	206,312	44.1	渉外費	450,000	521,480	86.3
IV. 事業外費用				教育文化費	1,800,000	403,627	446.0
雑損失	0	2,915	0.0	消耗品費	800,000	1,467,951	54.5
經常剰余金	102,000	2,549,397	4.0	諸会費	1,663,000	1,646,025	101.0
当期税引前剰余金	102,000	2,549,397	4.0	水道光熱費	350,000	321,766	108.8
				減価償却費	4,000	4,176	95.8
				雑費	350,000	344,160	101.7
				退職金	0	426,300	0.0
				寄付金	0	131,408	0.0
				租税公課	0	10,000	0.0
				業務委託費	1,000,000	55,550	1800.2
				物件費計	14,544,000	14,726,996	98.8
				経費合計	47,889,000	45,227,400	105.9

第68回通常総会にて、理事の年間報酬額を1,200万円以内で提案し、承認されました。
2023年度の役員報酬予算は、この上限額以内です。

1. 提案の内容

本総会の終結をもって、理事及び監事全員が任期満了となります。定款第18条、19条、21条および役員選任規約に基づき、別記名簿の役員候補者（理事12人、監事3人）を役員として選任することを提案いたします。

2. 役員選任の経過

- (1) 2023年3月23日に開催した第5回理事会において、役員選任規約実施細則第3条に基づき、千葉県生協連第74回通常総会における役員選任に関する公告の件について議決をしました。
- (2) 同じく同日開催された第5回理事会において、役員選任規約第5条および選任規約実施細則に基づき理事会が選任する役員推薦委員6人を議決しました。
- (3) 同じく同日開催された第5回理事会において、役員選任規約第2条および役員選任規約実施細則第3条に基づき全体区分理事（常勤理事）候補者1名、監事候補者3名の推薦を確認しました。
- (4) 2023年4月1日に役員選任規約実施細則第3条に基づき、「千葉県生協連第74回通常総会における役員選任に関する公告」をおこない、4月1日～4月20日までの期間で申出を受け付けたところ、分野区分理事として11名のお申出をいただきました。
- (5) 役員選任規約実施細則第5条1項及び2項に基づき、4月25日に開催した第1回役員推薦委員会で、推薦すべき候補者について選考をおこない、選考結果を会長理事に報告しました。会長理事は監事候補について監事に通知しました。
- (6) 4月26日開催の第2回監事会において、第74回通常総会第3号議案「役員選任の件」について議案として妥当であることを確認するとともに、役員選任規約第5条8項及び9項にもとづき、監事による協議をおこない、監事候補者について同意し、会長理事に通知しました。
- (7) 5月16日開催の第6回理事会において、第74回通常総会第3号議案として提案することを確認しました。

3. 役員候補者

役員名	氏名	所属生協名	
理事	高橋 由美子	生活協同組合パルシステム千葉理事	新任
理事	新村 里志	生活協同組合パルシステム千葉専務理事	再任
理事	渡邊 英里子	生活協同組合コープみらい常務執行役員千葉県本部長	再任
理事	重田 千鶴子	生活協同組合コープみらい理事	新任
理事	埴 智	生活クラブ生活協同組合専務理事	再任
理事	岩崎 秀人	なのはな生活協同組合専務理事	再任
理事	鶴岡 隆幸	千葉県庁生活協同組合専務理事	再任
理事	石原 裕	千葉大学生生活協同組合専務理事	再任
理事	筒井 道広	千葉県学校生活協同組合顧問	新任
理事	杉浦 高志	千葉県勤労者共済生活協同組合専務理事	再任
理事	大見 卓央	生活協同組合ちば住宅コープ専務理事	新任
理事	尼崎 英之	千葉県生活協同組合連合会専務補佐	新任
監事	有吉 直樹	東邦大学消費生活協同組合専務理事	再任
監事	高橋 洋	千葉県高齢者生活協同組合理事長	再任
監事	稲生 修	生活協同組合コープみらい監事室担当統括部長	新任

【注記】 役職名は2023年5月16日時点のものです。

本議案における決議の本旨に反しない範囲での字句の修正は理事会にご一任ください。

<付属資料>

■地域生協の市町村別加入状況一覧

■2022年度 会員生協概況表

地域生協の市町村別加入率（2023年3月31日現在）

人口・世帯数は2023年4月1日現在 千葉県毎月常住人口調査より

市町村名	総人口	世帯数	なのはな	パルシステム
県 計	6,269,572	2,849,367	10,804	258,824
不 明			0	3,324
そ の 他			1,932	2,517
合 計	6,269,572	2,849,367	12,736	264,665
中 央 区	214,064	113,289	545	8,055
花 見 川 区	177,026	83,638	390	6,986
稲 毛 区	160,019	76,744	336	6,846
若 葉 区	145,267	65,978	255	5,279
緑 区	129,350	52,570	355	6,252
美 浜 区	152,338	70,225	323	6,156
千 葉 市 合 計	978,064	462,444	2,204	39,574
銚 子 市	54,918	25,118		927
市 川 市	497,048	248,432	1977	21,282
船 橋 市	646,322	298,572	1272	26,546
館 山 市	43,672	20,356		1,867
木 更 津 市	136,375	60,242	93	4,365
松 戸 市	496,793	237,180	732	20,684
野 田 市	151,997	65,341		20,584
茂 原 市	85,486	38,001	68	2,884
成 田 市	132,057	61,478	368	3,635
佐 倉 市	165,801	71,249	425	6,253
東 金 市	57,128	25,823	58	2,278
旭 市	61,985	24,823		1,657
習 志 野 市	175,982	81,175	413	7,697
柏 市	432,985	196,147	473	19,432
勝 浦 市	15,871	7,803		149
市 原 市	264,977	120,040	227	8,431
流 山 市	209,935	88,718	259	11,029
八 千 代 市	202,704	89,168	241	7,846
我 孫 子 市	129,716	57,979	178	6,847
鴨 川 市	30,853	14,546		645
鎌 ヶ 谷 市	109,509	48,677	155	4,102

コープみらい	生活クラブ	組合員合計	2020 加入率 (%)	2021 加入率 (%)	2022 加入率 (%)
897,789	43,562	1,210,979	41.80	42.50	42.50
196	0	3,520			
5,359	455	10,263			
903,344	44,017	1,224,762	42.15	42.90	42.98
29,896	1,051	39,547	36.23	34.88	34.91
31,580	1,372	40,328	47.43	48.28	48.22
24,820	1,914	33,916	43.98	44.37	44.19
25,774	1,395	32,703	47.42	49.54	49.57
18,328	835	25,770	48.62	48.83	49.02
19,093	2,249	27,821	39.52	39.84	39.62
149,491	8,816	200,085	43.16	43.33	43.27
8,258	17	9,202	35.81	36.63	36.64
57,763	1,981	83,003	32.31	33.24	33.41
101,885	3,242	132,945	43.89	44.60	44.53
6,520	78	8,465	40.01	40.96	41.58
18,036	780	23,274	37.48	38.49	38.63
68,654	3,697	93,767	38.95	39.51	39.53
12,793	1,101	34,478	52.95	53.15	52.77
12,177	322	15,451	40.09	40.65	40.66
17,068	626	21,697	35.07	35.48	35.29
23,826	2,190	32,694	44.60	46.08	45.89
8,189	218	10,743	41.63	42.12	41.60
7,751	79	9,487	38.17	38.47	38.22
24,446	1,081	33,637	41.15	41.45	41.44
44,441	4,705	69,051	34.12	35.53	35.20
3,474	48	3,671	43.37	45.41	47.05
37,746	1,458	47,862	38.74	39.50	39.87
39,292	2,827	53,407	59.21	60.16	60.20
38,609	1,320	48,016	54.12	54.01	53.85
13,684	1,215	21,924	37.60	37.96	37.81
5,608	109	6,362	42.81	43.46	43.74
25,765	603	30,625	61.40	62.19	62.91

市町村名	総人口	世帯数	なのはな	パルシステム
君津市	79,793	35,271	17	1,938
富津市	40,402	17,599		682
浦安市	171,155	82,259	507	8,071
四街道市	94,612	39,828	166	3,292
袖ヶ浦市	64,776	26,575	29	2,097
八街市	65,977	28,635	96	2,029
印西市	107,463	40,956	172	5,655
白井市	61,944	24,735	97	2,714
富里市	49,090	22,418	154	1,335
南房総市	33,955	14,561		918
匝瑳市	33,504	12,940		879
香取市	69,151	27,635	119	1,295
山武市	46,867	19,600	114	1,504
いすみ市	33,954	14,423		335
大網白里市	47,456	20,048		2,165
酒々井町	20,209	9,292	190	699
栄町	19,682	8,395		633
神崎町	5,592	2,292		97
多古町	13,031	4,998		216
東庄町	12,619	4,683		286
九十九里町	13,795	6,090		415
芝山町	6,792	2,547		149
横芝光町	21,234	8,334		632
一宮町	11,896	5,154		464
睦沢町	6,500	2,492		208
長生村	13,385	5,628		458
白子町	9,907	4,213		327
長柄町	6,375	2,505		204
長南町	6,803	2,592		192
大多喜町	8,355	3,336		10
御宿町	6,633	3,083		14
鋸南町	6,487	2,938		197
千葉市外合計	5,291,508	2,386,923	8,600	219,250

※不明：住所不明

※その他：県外組合員

※生活クラブは3月20日現在の数値

コープみらい	生活クラブ	組合員合計	2020 加入率 (%)	2021 加入率 (%)	2022 加入率 (%)
13,300	319	15,574	43.41	43.91	44.16
6,842	99	7,623	41.18	42.76	43.31
15,856	1,845	26,279	31.70	32.58	31.95
16,778	754	20,990	52.48	52.86	52.70
11,017	340	13,483	50.69	50.54	50.74
8,682	227	11,034	38.34	38.85	38.53
14,142	1,416	21,385	51.89	51.81	52.21
9,409	681	12,901	52.18	52.25	52.16
5,862	161	7,512	33.27	33.77	33.51
5,680	104	6,702	44.11	45.54	46.03
4,814	56	5,749	44.18	44.59	44.43
10,893	21	12,328	42.98	44.28	44.61
7,430	95	9,143	45.21	47.04	46.65
6,107	151	6,593	42.16	44.84	45.71
6,474	201	8,840	43.67	44.17	44.09
2,433	101	3,423	36.36	37.09	36.84
3,317	138	4,088	46.29	47.87	48.70
1,012	4	1,113	46.80	47.25	48.56
1,927	15	2,158	39.22	42.77	43.18
1,888	2	2,176	44.66	46.75	46.47
2,113	20	2,548	39.83	41.52	41.84
905	12	1,066	40.90	42.37	41.85
3,103	15	3,750	42.09	44.85	45.00
1,676	64	2,204	43.23	41.62	42.76
1,027	24	1,259	47.14	48.61	50.52
1,942	29	2,429	43.90	42.67	43.16
1,468	11	1,806	40.49	42.07	42.87
1,011	22	1,237	46.54	49.12	49.38
1,114	8	1,314	45.76	49.35	50.69
1,512	37	1,559	46.83	47.00	46.73
1,309	75	1,398	44.98	44.85	45.35
1,270	2	1,469	47.21	50.37	50.00
748,298	34,746	1,010,894	41.54	42.34	42.35

2022年度 会員生協概況表

千葉県生活協同組合連合会

生協名		組合員数			総供給高 (千円)		
		21年度	22年度	前年同期比	21年度	22年度	前年同期比
地域	なのはな	12,512	12,736	101.8	2,045,336	1,992,220	97.4
	パルシステム	258,895	264,665	102.2	34,514,341	34,294,711	99.4
	コープみらい	889,024	901,476	101.4	102,998,248	101,981,462	99.0
	生活クラブ	44,372	44,017	99.2	9,230,400	8,944,751	96.9
	地域計	1,204,803	1,222,894	101.5	148,788,325	147,213,144	98.9
	千葉県庁	15,180	14,935	98.4	273,084	281,244	103.0
	千葉商大	4,502	4,679	103.9	189,374	162,367	85.7
	千葉大学	12,591	12,522	99.5	1,334,856	1,286,295	96.4
	東邦大	4,524	4,082	90.2	315,046	296,522	94.1
	学 校	41,661	41,745	100.2	514,486	454,274	88.3
	ちば住宅コープ	11,860	12,051	101.6	272,176	258,000	94.8
	高齢者生協	547	533	97.4	102,408	100,702	98.3
	職域・専門計	90,865	90,547	99.7	3,001,430	2,839,404	94.6
総合計		1,295,668	1,313,441	101.4	151,789,755	150,052,548	98.9
準会員	生協名	組合員数	県内組合員数	県内比率	総供給高	県内供給高	県内比率
	東都生協	256,310	1,392	0.54	34,558,096	147,549	0.43
	常総生協	5,798	756	13.0	917,258	170,943	18.6

※コープみらいは千葉県内の数字です

作成日 2023年5月2日

出資金高 (千円)			組員一人当たり月利用高 (円)			組員一人当たり出資金 (円)		
21年度	22年度	前年同期比	21年度	22年度	前年同期比	21年度	22年度	前年同期比
795,199	816,112	102.6	13,549	13,151	97.1	63,555	64,079	100.8
9,998,522	10,274,608	102.8	11,262	10,917	96.9	38,620	38,821	100.5
22,982,508	23,475,748	102.1	9,711	9,493	97.8	25,851	26,041	100.7
4,084,677	4,152,314	101.7	17,374	16,866	97.1	92,055	94,334	102.5
37,860,906	38,718,782	102.3	10,366	10,107	97.5	31,425	31,662	100.8
297,326	292,852	98.5	1,492	1,557	104.3	19,587	19,608	100.1
88,192	91,707	104.0	3,509	2,948	84.0	19,590	19,600	100.1
174,382	175,122	100.4	8,797	8,537	97.0	13,850	13,985	101.0
65,941	59,386	90.1	5,792	5,743	99.1	14,576	14,548	99.8
224,387	206,682	92.1	1,036	908	87.7	5,386	4,951	91.9
59,620	60,555	101.6	1,927	1,798	93.3	5,027	5,025	100.0
2,135	2,031	95.1	15,673	15,540	99.2	3,903	3,811	97.6
911,983	888,335	97.4	2,762	2,609	94.4	10,037	9,811	97.7
38,772,889	39,607,117	102.2	9,830	9,585	97.5	29,925	30,155	100.8
出資金高	組員一人当たり出資金 (円)		こくみん共済 coop 千葉推進本部 2022年5月末組員数 399,053名					
6,612,273	25,798							
336,317	58,006							